

平成25年8月16日（金）

八ヶ岳南麓里山再生・農業支援友の会
会員の皆様へ

「八ヶ岳の湧水」

残暑お見舞い申し上げます。甲府をはじめ県内各地では観測史上の記録を塗り替える暑さが続いています。ここ大泉も30℃を越える日は多く、又夕立も少なく野菜たちにとっては苦難の日々が続いています。先月の農場便りで報告しましたが野菜については定植時期の遅れという人為的原因もありますが散々な結果です。キュウリ、かぼちゃ、スイカは全滅、インゲン類は害虫で収穫は半減、比較的良いのがトマト類、茄子類ぐらいです。反省、改善事項の多い夏野菜の栽培でした。ところで大泉の地名の由来ともなっている八ヶ岳の大湧水を訪ねました。友人夫妻が農場に来られ案内する機会ができました。農場からは比較的近く八ヶ岳に向かって3kmくらい上がった所がありました。東京海洋大学の淡水魚の研究施設内にあり予約が必要です。一日の湧水量が700万k1ということです。山の斜面の底辺の窪地に石垣で囲われた出口より澄み切った清らかな水が滾々と流れ出ていました。この日も暑く案内して頂いた東京海洋大学の職員の方が用意してくれたコップでの湧水は美味しく一息つくことが出来ました。悠久の時を越え湧き出る清水がここから遠く駿河湾に流れ出ていることを思うと海は山が作ることの尊さを実感できました。八ヶ岳の麓の源流地帯で実践している無農薬、無肥料での自然栽培での稲作も環境保全の役割を少しは果たしているなど除草の苦勞も報われる思いでした。大泉にはこうした大小の湧水が12箇所あるとのこと。この一角には祠も設置されていて水への感謝は遠い昔から行われていたのでしょう。有難いことです。雨の少ないこの夏も水田は豊富な水に満ちています。稲穂もほぼ出揃い豊作を期待するところです。今月は野菜の種類が少なく誠に申し訳ありません。冬野菜で取り返すよう努めますのでご理解宜しくお願い申し上げます。

・大湧水 泉さん東京海洋大学施設内 8/12) ・元気に育つ「亀の尾」 (8/13)



八巻珍男

メール yamaki.yoshio@peach.plala.or.jp

携帯080-3080-3017